

の商人は、其輸出品即ち羊毛、毛皮、米、水煙等を駱駝又騾馬に駄し、或は車輛に積みみて北清に送り、其歸路天津及北京に雜貨を仕入る。是に於てか天津、北京の商界に、稍々勢力ある我國品が、自然輸入の多きを致すに過ぎざるなり。自動的商業の早晩他動的商業に打勝つは、賭易き道理なれば我商人たる者、今日此際奮勵一番、深く支那内地を跋渉して精密に各地の商況を視察し、販路を擴張し、以て歐商の侵略を防遏するに非ざれば、恐らく臍を嚙むの悔あらん。

第五節 肅州安西間

肅州以西は、寂寞の沙原なるが故に旅客は此地に數日を徒費するも、成るべく多くの同行者を求めて相頼り、相助けんとするものゝ如し。客舎は西するに従ひ、漸次に粗造となるも、此より以西は、尙ほ更に甚しく、眞に有名無實の狀況なれば、寧ろ車上に起臥するの優れるに如かざるなり。故に蘭州以西の旅行殊に冬季に於ては、車行を最必要とす。車行の必要なると共に、日常の需用品及食料品の準備、亦缺くべからざるは勿論にして、都會の地と雖も容易に補給し得べからず。況んや大

客舎有名
無實

車行の必
要と日用
品の携帶